

概 況

1. 事業所数

～ 工業地区を除くすべての特性地区で事業所数が減少 ～

(1) 立地環境特性地区別の事業所数

平成19年調査における小売業の事業所数は、113万8千事業所(前回比 8.1%減)となった。これを立地環境特性地区別(以下、「特性地区別」という)にみると、商業集積地区が42万7千事業所(同 9.0%減)、住宅地区は34万事業所(同 10.2%減)、その他地区は21万5千事業所(同 7.2%減)、オフィス街地区は9万1千事業所(同 2.9%減)、工業地区は6万5千事業所(同横ばい)と、工業地区を除くすべての地区で減少となった。

なお、改正都市計画法施行(平成19年11月)により売場面積1万㎡を超える大型店の出店が制限されたことから、工業地区への駆け込み出店もみられ、工業地区の事業所数については各特性地区が減少するなか横ばいを維持、商業集積地区のうち、ロードサイド型については7.1%の伸びとなった。

また、平成19年調査から調査対象に加えた有料施設内事業所数は2579事業所(小売業全体に対する構成比 0.2%)となり、そのうち、駅改札内事業所数は1925事業所(同 0.2%)、有料道路内事業所数は611事業所(同 0.1%)となった(第1-1表)。

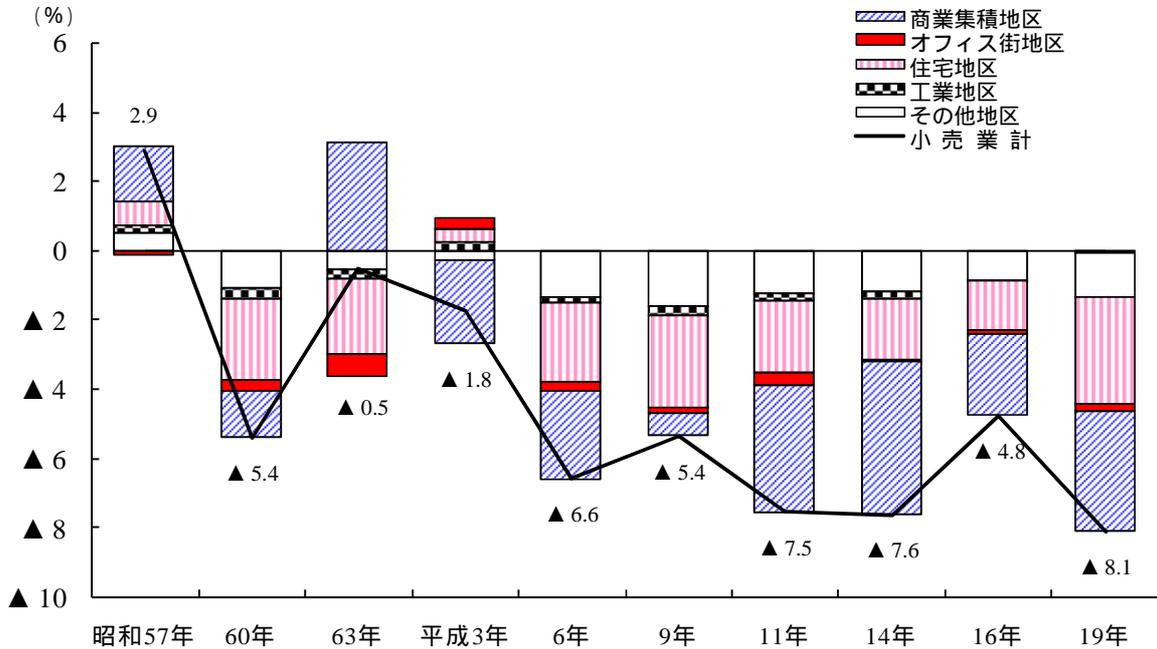
第1-1表 特性地区別の事業所数

特性地区別	事業所数				
	平成16年	平成19年	構成比(%)		前回比(%)
			平成16年	平成19年	
小 売 業 計	1,238,049	1,137,859	100.0	100.0	▲ 8.1
うち、有料施設内事業所	-	2,579	-	0.2	-
うち、駅改札内事業所	-	1,925	-	0.2	-
商 業 集 積 地 区	469,958	427,463	38.0	37.6	▲ 9.0
駅 周 辺 型	165,100	150,855	13.3	13.3	▲ 8.6
うち、駅改札内事業所	-	1,293	-	0.1	-
市 街 地 型	113,208	100,965	9.1	8.9	▲ 10.8
住 宅 地 背 景 型	138,734	122,016	11.2	10.7	▲ 12.1
ロ ー ド サ イ ド 型	37,338	40,001	3.0	3.5	7.1
そ の 他	15,578	13,626	1.3	1.2	▲ 12.5
オ フ ィ ス 街 地 区	93,250	90,536	7.5	8.0	▲ 2.9
住 宅 地 区	378,266	339,839	30.6	29.9	▲ 10.2
工 業 地 区	65,408	65,438	5.3	5.8	0.0
そ の 他 地 区	231,167	214,583	18.7	18.9	▲ 7.2
うち、有料道路内事業所	-	611	-	0.1	-

(注)平成19年調査より駅改札内及び有料道路内事業所を調査対象に加えた。

前回の推移をみると、平成6年以降すべての特性地区で減少が続いており、商業集積地区、住宅地区の減少が大きく寄与している（第1-1図）。

第1-1図 特性地区別事業所数の前年比（伸び率寄与度）の推移

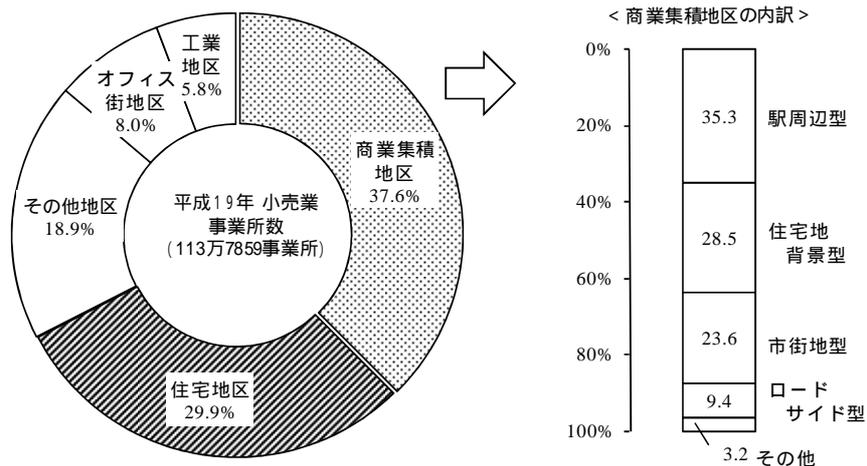


注1) 平成11年調査において事業所の捕そくを行ったため、前年比については時系列を考慮したもので算出している。

注2) 平成14年調査より、特性地区別の格付けを事業所単位（平成11年調査までは調査区単位）に変更したため、伸び率寄与度については特性地区別の格付け変更があった事業所を除いて算出している。

構成比をみると、商業集積地区が37.6%、住宅地区が29.9%、その他地区が18.9%、オフィス街地区が8.0%、工業地区が5.8%となっている。商業集積地区の内訳をみると、駅周辺型（商業集積地区に占める割合 35.3%）の事業所が最も多く、次いで住宅地背景型（同 28.5%）、市街地型（同 23.6%）の順で、ロードサイド型（同 9.4%）は1割未満となっている（第1-1表、第1-2図）。

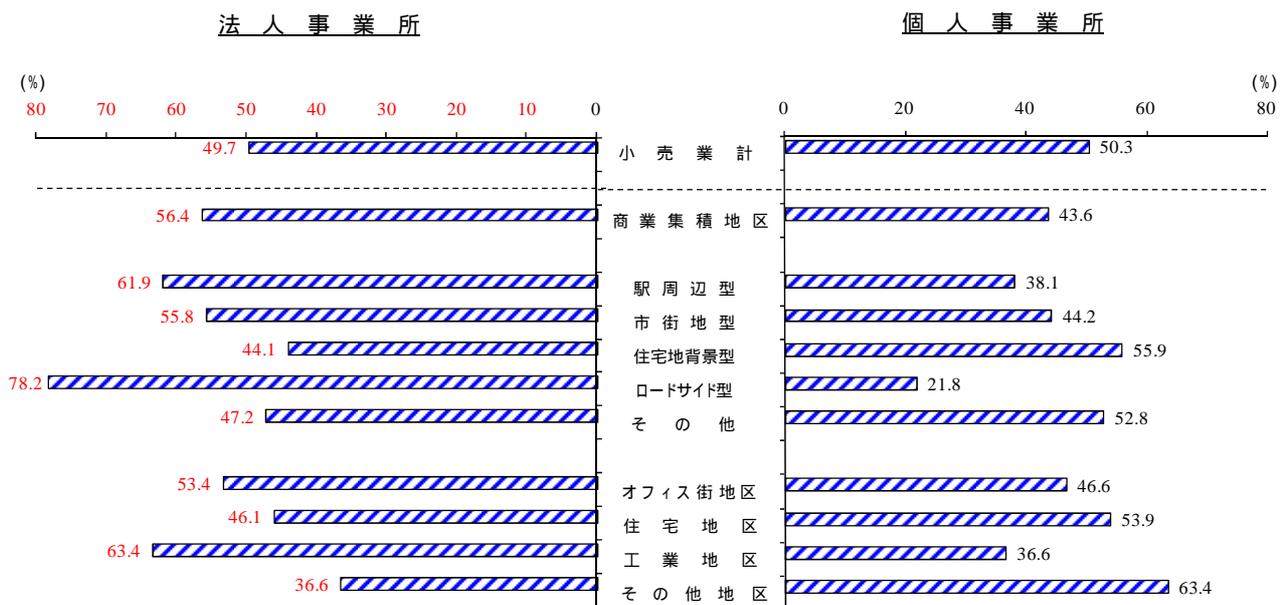
第1-2図 特性地区別事業所数の構成比



(2) 立地環境特性地区別にみた経営組織別事業所数

経営組織別にみると、小売業全体では法人事業所が49.7%、個人事業所数が50.3%と、個人事業所が過半を占めているもののその割合はほぼ同じとなっている。これを特性地区別にみると、其他地区、住宅地区では個人事業所の割合が高く、工業地区やオフィス街地区、商業集積地区では法人事業所の割合が高くなっている。商業集積地区の内訳をみると、ロードサイド型、駅周辺型、市街地型では法人事業所が過半を占めており、住宅背景型、その他では個人事業所の割合が過半となっている(第1-3図)。

第1-3図 特性地区別、経営組織別事業所数の構成比



前回比をみると、法人事業所数は前回比 2.2%、個人事業所数は同 13.3%と、ともに減少となった。

これを、特性地区別にみると、法人事業所数は商業集積地区(前回比 3.4%減)、住宅地区(同 5.3%減)では減少、工業地区(同 7.2%増)、其他地区(同 1.8%増)、オフィス街地区(同 1.4%増)で増加となっている。また商業集積地区全体では減少となったものの、その内訳ではロードサイド型(同 15.7%増)が唯一増加している。一方、個人事業所数をみると、全地区で減少となっており、なかでも商業集積地区の内訳はすべて15%以上の減少となっている(第1-2表)。

第1-2表 特性地区別、経営組織別の事業所数

特性地区別	事業所数							
	合計		法人事業所			個人事業所		
	平成16年	平成19年	平成16年	平成19年	前回比 (%)	平成16年	平成19年	前回比 (%)
小売業計	1,238,049	1,137,859	578,426	565,969	▲ 2.2	659,623	571,890	▲ 13.3
商業集積地区	469,958	427,463	249,609	241,151	▲ 3.4	220,349	186,312	▲ 15.4
駅周辺型	165,100	150,855	97,251	93,314	▲ 4.0	67,849	57,541	▲ 15.2
市街地型	113,208	100,965	60,404	56,334	▲ 6.7	52,804	44,631	▲ 15.5
住宅背景型	138,734	122,016	58,038	53,774	▲ 7.3	80,696	68,242	▲ 15.4
ロードサイド型	37,338	40,001	27,049	31,293	15.7	10,289	8,708	▲ 15.4
その他	15,578	13,626	6,867	6,436	▲ 6.3	8,711	7,190	▲ 17.5
オフィス街地区	93,250	90,536	47,712	48,365	1.4	45,538	42,171	▲ 7.4
住宅地区	378,266	339,839	165,303	156,506	▲ 5.3	212,963	183,333	▲ 13.9
工業地区	65,408	65,438	38,717	41,490	7.2	26,691	23,948	▲ 10.3
其他地区	231,167	214,583	77,085	78,457	1.8	154,082	136,126	▲ 11.7

(3) 立地環境特性地区別にみた業種別事業所数

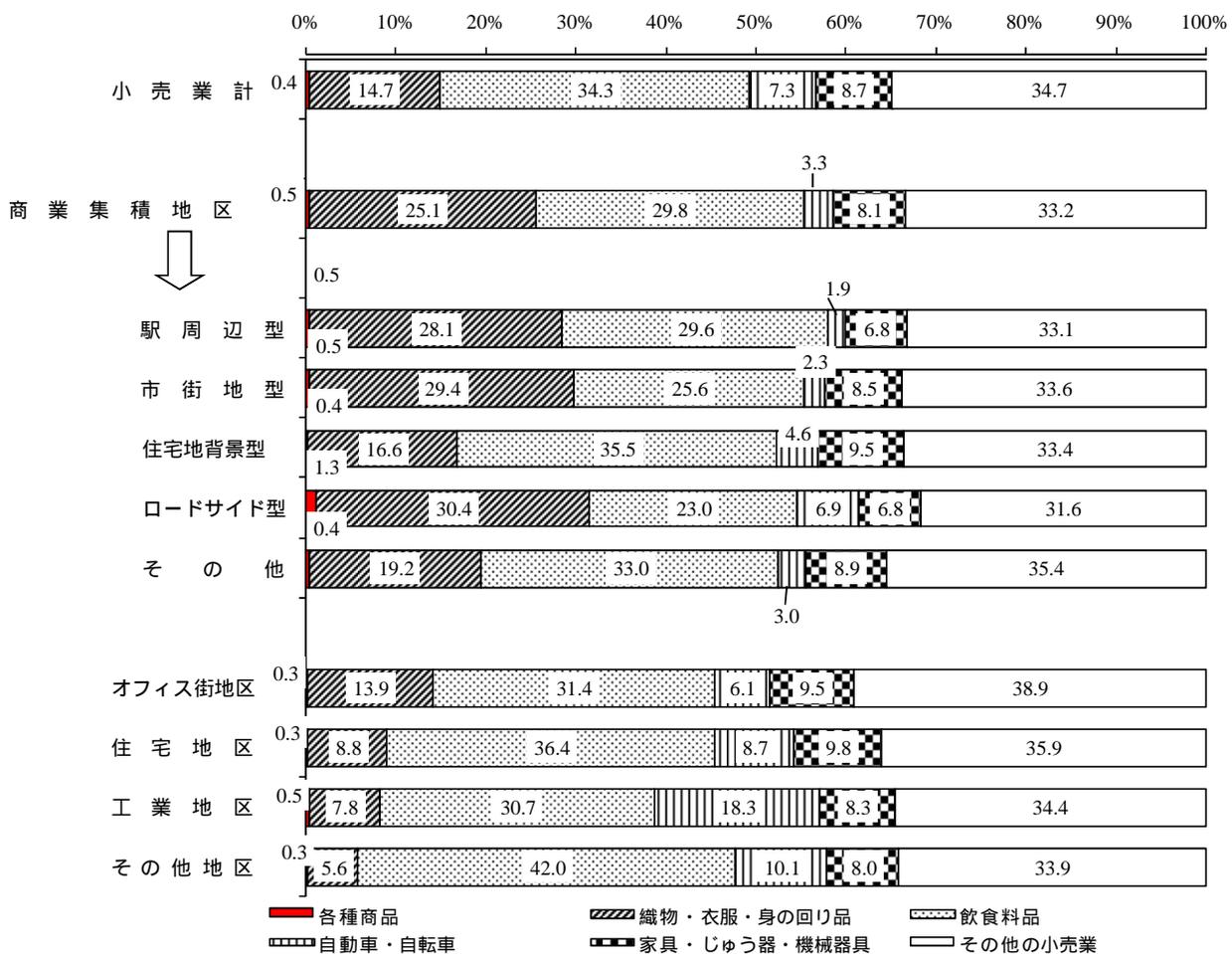
特性地区別に業種別の事業所構成比をみると、飲食料品小売業、生活必需品や日用品を扱っているその他の小売業の事業所割合がすべての地区で高く、いずれの地区もこの2業種で事業所数の6割以上を占めている。このうち、その他地区、住宅地区といった居住地に近い地区では、飲食料品小売業の事業所数が多い。

織物・衣服・身の回り品小売業の割合は、商業集積地区が他の地区に比べ高い割合となっている。このうち、ロードサイド型では3割超、市街地型、駅周辺型では3割近くを占めている。

自動車・自転車小売業の割合は工業地区が群を抜いて高く2割近くを占めているが、これは、広い敷地面積の確保が可能なためと考えられる。

家具・じゅう器・機械器具小売業の割合は、いずれの地域においても概ね1割近くを占めている(第1-3表、第1-4図)。

第1-4図 特性地区別、業種別事業所数の構成比



また、前回はをみると、工業地区を除くすべての特性地区で減少となった。商業集積地区の内訳をみると、ロードサイド型(前回は 7.1%増)のみ増加となった。業種別にみると、商業集積地区(同 9.0%減)では、商業集積地区の3割超を占めるその他の小売業(同 6.6%減)で減少となったほか、飲食料点小売業(同 12.6%減)、家具・じゅう器・機械器具小売業(同 16.8%減)でも減少している。

工業地区(同横ばい)では、飲食料点小売業(同 5.7%減)、家具・じゅう器・機械器具小売業(同 5.3%減)が減少となったものの、その他の小売業(同 5.1%増)が増加、自動車・自転車小売業(同 2.4%増)が前回に引き続き増加、織物・衣服・身の回り品小売業(同 3.3%増)、各種商品小売業(同 1.6%増)が増加となった。

商業集積地区の内訳をみると、ロードサイド型で織物・衣服・身の回り品小売業(同 24.4%増)が大きく増加したほか、その他の小売業(同 6.9%増)、各種商品小売業(同 4.8%増)が増加となった(第1-3表)。

第1-3表 特性地区別、業種別の事業所数と前回比

特性地区別	事業所数						
	合計	55 各種商品 小売業	56 織物・衣服・ 身の回り品 小売業	57 飲食料品 小売業	58 自動車 ・自転車 小売業	59 家具・じゅう 器・機械器 具小売業	60 その他の 小売業
小 売 業 計	1,137,859	4,742	166,732	389,832	82,984	98,927	394,642
商業集積地区	427,463	2,276	107,141	127,396	14,068	34,483	142,099
駅周辺型	150,855	768	42,391	44,615	2,891	10,276	49,914
市街地型	100,965	514	29,689	25,818	2,357	8,632	33,955
住宅地背景型	122,016	428	20,282	43,261	5,652	11,621	40,772
ロードサイド型	40,001	507	12,162	9,199	2,758	2,737	12,638
その他	13,626	59	2,617	4,503	410	1,217	4,820
オフィス街地区	90,536	277	12,544	28,398	5,497	8,576	35,244
住宅地区	339,839	1,145	29,999	123,844	29,725	33,166	121,960
工業地区	65,438	317	5,080	20,079	11,987	5,433	22,542
その他地区	214,583	727	11,968	90,115	21,707	17,269	72,797

特性地区別	前回比(%)						
	合計	55 各種商品 小売業	56 織物・衣服・ 身の回り品 小売業	57 飲食料品 小売業	58 自動車 ・自転車 小売業	59 家具・じゅう 器・機械器 具小売業	60 その他の 小売業
小 売 業 計	▲ 8.1	▲ 14.7	▲ 6.3	▲ 12.3	▲ 4.6	▲ 14.1	▲ 3.3
商業集積地区	▲ 9.0	▲ 15.5	▲ 4.7	▲ 12.6	▲ 9.2	▲ 16.8	▲ 6.6
駅周辺型	▲ 8.6	▲ 21.5	▲ 4.8	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 19.9	▲ 6.4
市街地型	▲ 10.8	▲ 17.8	▲ 8.3	▲ 14.2	▲ 12.8	▲ 15.8	▲ 8.6
住宅地背景型	▲ 12.1	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 14.5	▲ 8.6	▲ 16.8	▲ 8.6
ロードサイド型	7.1	4.8	24.4	▲ 3.9	▲ 1.5	▲ 5.1	6.9
その他	▲ 12.5	▲ 33.0	▲ 8.8	▲ 16.2	▲ 16.8	▲ 19.2	▲ 8.2
オフィス街地区	▲ 2.9	▲ 19.5	▲ 5.6	▲ 5.0	0.1	▲ 8.7	1.2
住宅地区	▲ 10.2	▲ 14.4	▲ 11.1	▲ 14.5	▲ 7.6	▲ 14.5	▲ 4.3
工業地区	0.0	1.6	3.3	▲ 5.7	2.4	▲ 5.3	5.1
その他地区	▲ 7.2	▲ 16.3	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 1.9	▲ 12.7	1.0

特性地区別に細分類別事業所数構成比をみると、商業集積地区では婦人服小売業の事業所の割合が最も高く他に分類されないその他の小売業、そう菜・弁当などを含む料理品小売業、菓子小売業（製造小売）、家電などを含む電気機械器具小売業、男子服小売業、眼鏡・コンタクトレンズなどを含む時計・眼鏡・光学機械小売業、調剤薬局などが上位に位置しているが、他の地区に比べてコンビニエンスストアの事業所の割合は低くなっている。

オフィス街地区は、商業地域及び近隣商業地域であることから、商業集積地区と同様の業種が上位にあることに加え、コンビニエンスストアやたばこ・喫煙具専門小売業、ガソリンスタンドなどの事業所も多くみられる。

住宅地区では、酒小売業、コンビニエンスストア、電気機械器具小売業、調剤薬局などの個人事業所が多いことに加え、料理品小売業、各種食料品小売業などの飲食料品関連の事業所もみられる。

工業地区では、自動車（新車）小売業の事業所の割合が最も高く、ガソリンスタンド、中古自動車小売業、自動車部分品・附属品小売業の事業所割合も他の地区に比べ高いものとなっている。また、この地区においても料理品小売業、コンビニエンスストアが上位に位置している。

その他地区では、酒小売業の事業所の割合が最も高い。住宅地区と同様に生活圏であることから、その構成は住宅地区に近いものとなっているが、市街地から離れていることもあって、他に分類されないその他の小売業、各種食料品小売業、他に分類されない飲食料品小売業など、取扱商品が多彩な業種の事業所の割合が高い。また、ガソリンスタンドや自動車（新車）小売業も上位に位置している（第1-4 1表）。

第1-4 1表 特性地区別にみた細分類別の事業所数構成比（上位20業種）

順位	事業所数の構成比									
	商業集積地区		オフィス街地区		住宅地区		工業地区		その他地区	
	業種名	構成比 (%)	業種名	構成比 (%)	業種名	構成比 (%)	業種名	構成比 (%)	業種名	構成比 (%)
1位	婦人服小売業	11.3	他に分類されないその他の小売業	5.4	酒小売業	4.7	自動車（新車）小売業	8.6	酒小売業	7.0
2位	他に分類されないその他の小売業	4.1	婦人服小売業	5.1	コンビニエンスストア	4.6	ガソリンスタンド	6.5	ガソリンスタンド	6.9
3位	料理品小売業	3.7	コンビニエンスストア	4.8	電気機械器具小売業	4.4	コンビニエンスストア	5.5	他に分類されないその他の小売業	5.8
4位	菓子小売業（製造小売）	3.3	調剤薬局	4.2	調剤薬局	4.3	他に分類されないその他の小売業	4.7	各種食料品小売業	5.6
5位	電気機械器具小売業	3.0	料理品小売業	3.9	他に分類されないその他の小売業	4.2	中古自動車小売業	4.7	コンビニエンスストア	4.2
6位	男子服小売業	3.0	酒小売業	3.6	料理品小売業	4.1	料理品小売業	4.4	自動車（新車）小売業	3.7
7位	時計・眼鏡・光学機械小売業	3.0	電気機械器具小売業	3.4	各種食料品小売業	3.4	酒小売業	3.3	他に分類されない飲食料品小売業	3.7
8位	調剤薬局	2.9	たばこ・喫煙具専門小売業	3.0	婦人服小売業	3.3	電気機械器具小売業	3.1	飲料小売業	3.6
9位	酒小売業	2.6	ガソリンスタンド	2.9	ガソリンスタンド	3.3	自動車部分品・附属品小売業	2.9	料理品小売業	3.5
10位	化粧品小売業	2.6	男子服小売業	2.7	たばこ・喫煙具専門小売業	3.1	各種食料品小売業	2.8	中古自動車小売業	3.4
11位	花・植木小売業	2.5	花・植木小売業	2.6	自動車（新車）小売業	2.6	たばこ・喫煙具専門小売業	2.7	電気機械器具小売業	3.1
12位	コンビニエンスストア	2.4	菓子小売業（製造小売）	2.5	菓子小売業（製造小売）	2.6	婦人服小売業	2.6	たばこ・喫煙具専門小売業	2.5
13位	医薬品小売業（調剤薬局を除く）	2.3	他に分類されない飲食料品小売業	2.5	医薬品小売業（調剤薬局を除く）	2.5	調剤薬局	2.3	燃料小売業（ガソリンスタンドを除く）	2.4
14位	菓子小売業（製造小売でないもの）	2.2	医薬品小売業（調剤薬局を除く）	2.4	他に分類されない飲食料品小売業	2.4	他に分類されない飲食料品小売業	2.3	婦人服小売業	2.4
15位	洋品雑貨・小間物小売業	2.1	自動車（新車）小売業	2.1	中古自動車小売業	2.4	燃料小売業（ガソリンスタンドを除く）	2.2	鮮魚小売業	2.3
16位	他に分類されない飲食料品小売業	2.1	書籍・雑誌小売業	2.0	新聞小売業	2.3	飲料小売業	2.1	菓子小売業（製造小売）	2.0
17位	書籍・雑誌小売業	2.0	化粧品小売業	2.0	花・植木小売業	2.2	医薬品小売業（調剤薬局を除く）	2.0	調剤薬局	2.0
18位	兵服・服地小売業	1.8	時計・眼鏡・光学機械小売業	2.0	飲料小売業	2.1	スポーツ用品小売業	1.7	農業用機械器具小売業	2.0
19位	各種食料品小売業	1.8	スポーツ用品小売業	1.9	燃料小売業（ガソリンスタンドを除く）	2.0	菓子小売業（製造小売）	1.6	菓子小売業（製造小売でないもの）	1.9
20位	靴小売業	1.8	米穀類小売業	1.8	化粧品小売業	1.9	男子服小売業	1.6	新聞小売業	1.8
計	上位20位までの計	61.0	上位20位までの計	60.9	上位20位までの計	60.9	上位20位までの計	67.5	上位20位までの計	69.8

また、商業集積地区の内訳をみると、駅周辺型ではそう菜・弁当などの料理品小売業が上位に入り、市街地型では他に分類されないその他の小売業、住宅背景型では電気機械器具小売業や酒小売業、ロードサイド型では自動車(新車)小売業やガソリンスタンドなどの割合が高くなっている(第1-4-2表)。

第1-4 2表 特性地区別にみた細分類別の商業集積地区の事業所数構成比(上位20業種)

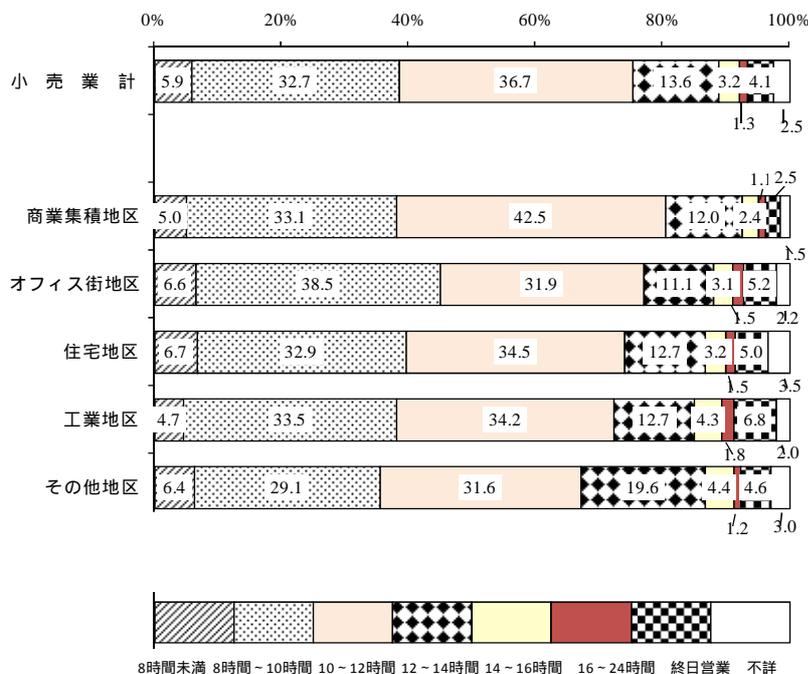
順位	事業所数の構成比									
	駅周辺型		市街地型		住宅背景型		ロードサイド型		その他	
	業種名	構成	業種名	構成比	業種名	構成比	業種名	構成比	業種名	構成
1位	婦人服小売業	14.1	婦人服小売業	13.3	婦人服小売業	7.5	婦人服小売業	13.9	他に分類されないその他の小売業	10.3
2位	料理品小売業	4.0	他に分類されないその他の小売業	4.4	料理品小売業	4.2	男子服小売業	4.3	婦人服小売業	8.5
3位	他に分類されないその他の小売業	3.9	男子服小売業	4.3	電気機械器具小売業	3.8	料理品小売業	3.8	菓子小売業(製造小売)	4.4
4位	時計・眼鏡・光学機械小売業	3.3	菓子小売業(製造小売)	3.3	酒小売業	3.6	他に分類されないその他の小売業	3.7	酒小売業	3.7
5位	調剤薬局	3.2	時計・眼鏡・光学機械小売業	3.2	菓子小売業(製造小売)	3.5	時計・眼鏡・光学機械小売業	3.3	菓子小売業(製造小売でないもの)	3.1
6位	菓子小売業(製造小売)	3.1	料理品小売業	2.8	他に分類されないその他の小売業	3.4	自動車(新車)小売業	3.1	電気機械器具小売業	3.0
7位	男子服小売業	3.0	電気機械器具小売業	2.7	調剤薬局	3.4	電気機械器具小売業	2.8	料理品小売業	2.8
8位	化粧品小売業	2.9	化粧品小売業	2.7	花・植木小売業	2.7	洋品雑貨・小間物小売業	2.7	鮮魚小売業	2.6
9位	コンビニエンスストア	2.9	呉服・服地小売業	2.6	医薬品小売業(調剤薬局を除く)	2.6	ガソリンスタンド	2.7	他に分類されない飲食料品小売業	2.6
10位	菓子小売業(製造小売でないもの)	2.7	酒小売業	2.5	コンビニエンスストア	2.5	菓子小売業(製造小売)	2.5	各種食料品小売業	2.4
11位	電気機械器具小売業	2.6	調剤薬局	2.5	各種食料品小売業	2.5	菓子小売業(製造小売でないもの)	2.5	ガソリンスタンド	2.3
12位	花・植木小売業	2.6	花・植木小売業	2.5	鮮魚小売業	2.3	靴小売業	2.4	医薬品小売業(調剤薬局を除く)	2.1
13位	書籍・雑誌小売業	2.4	洋品雑貨・小間物小売業	2.3	時計・眼鏡・光学機械小売業	2.3	ジュエリー製品小売業	2.2	時計・眼鏡・光学機械小売業	2.0
14位	洋品雑貨・小間物小売業	2.4	医薬品小売業(調剤薬局を除く)	2.2	たばこ・喫煙具専門小売業	2.3	化粧品小売業	2.2	洋品雑貨・小間物小売業	2.0
15位	医薬品小売業(調剤薬局を除く)	2.2	ジュエリー製品小売業	2.1	他に分類されない飲食料品小売業	2.3	書籍・雑誌小売業	2.1	化粧品小売業	1.8
16位	他に分類されない飲食料品小売業	2.1	他に分類されない飲食料品小売業	2.0	化粧品小売業	2.0	コンビニエンスストア	2.0	調剤薬局	1.7
17位	酒小売業	2.1	靴小売業	2.0	野菜小売業	2.2	他に分類されない織物・衣服・身の回り品小売業	2.0	男子服小売業	1.7
18位	靴小売業	2.0	書籍・雑誌小売業	1.8	ガソリンスタンド	2.0	各種食料品小売業	1.9	花・植木小売業	1.7
19位	他に分類されない織物・衣服・身の	1.9	他に分類されない織物・衣服・身	1.8	米穀類小売業	1.9	医薬品小売業(調剤薬局を除く)	1.9	燃料小売業(ガソリンスタンドを除	1.7
20位	ジュエリー製品小売業	1.8	コンビニエンスストア	1.7	菓子小売業(製造小売でないもの)	1.8	花・植木小売業	1.9	コンビニエンスストア	1.6
計	上位20位までの計	52.9	上位20位までの計	62.7	上位20位までの計	59.1	上位20位までの計	63.9	上位20位までの計	62.1

(4) 立地環境特性地区別にみた営業時間別事業所数

営業時間別に事業所数の構成比をみると、小売業全体では「10時間以上12時間未満」が4割近くを占め最も高く、次いで「8時間以上10時間未満」が3割を占めている。これを特性地区別にみると、商業集積地区、住宅地区、工業地区、その他地区ではいずれも「10時間以上12時間未満」の事業所割合が最も高いが、オフィス街地区では地区内の活動時間に合わせ「8時間以上10時間未満」の事業所割合が最も高い。平成19年から調査対象に加えた有料道路内事業所のうちほぼ半数は終日営業店となっている(第1-5表、第1-5図)。

前回と比べると商業集積地区のうち、ロードサイド型は「8時間以上10時間未満」を除くすべての区分で増加となった。オフィス地区、住宅地区、工業地区、その他地区では8時間未満、終日営業の事業所が増加している(第1-5表)。

第1-5図 特性地区別、営業時間別事業所数の構成比



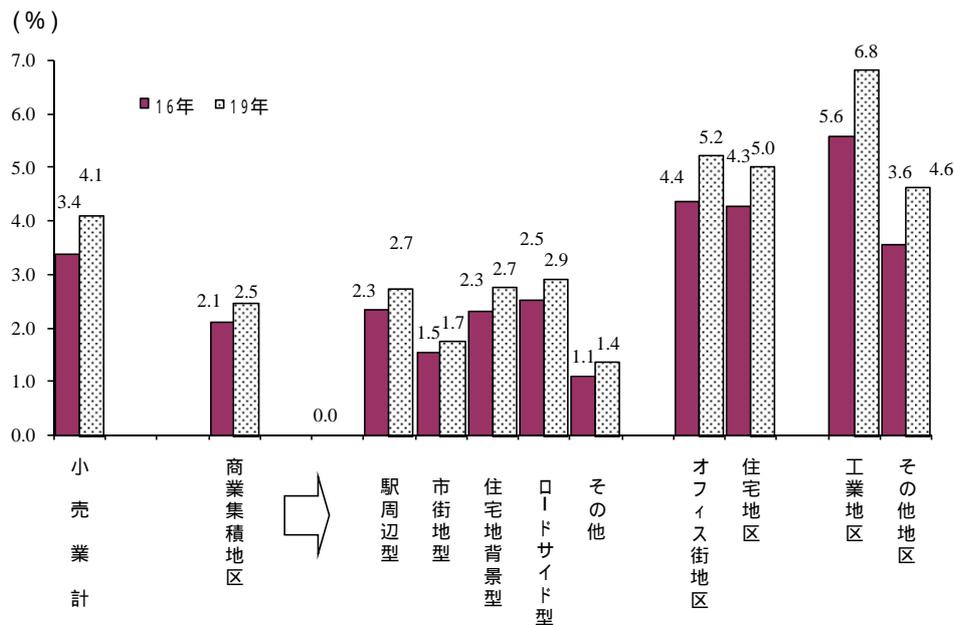
第1-5表 特性地区別営業時間別の事業所数

特性地区別	事業所数								
	計	8時間未満	8時間以上10時間未満	10時間以上12時間未満	12時間以上14時間未満	14時間以上16時間未満	16時間以上24時間未満	終日営業	不詳
小売業計	1,137,859	66,831	372,427	418,110	154,830	36,191	14,911	46,563	27,996
うち、有料施設内事業所	2,579	89	65	148	760	652	273	310	282
商業集積地区	427,463	21,337	141,403	181,662	51,315	10,399	4,535	10,527	6,285
駅周辺型	150,855	7,022	47,267	69,244	15,537	3,758	1,912	4,078	2,037
市街地型	100,965	6,093	42,870	37,599	9,217	1,634	799	1,763	990
住宅地背景型	122,016	6,413	39,610	49,867	15,831	2,990	1,331	3,340	2,634
ロードサイド型	40,001	782	7,758	19,602	8,365	1,583	380	1,162	369
その他	13,626	1,027	3,898	5,350	2,365	434	113	184	255
オフィス街地区	90,536	5,945	34,852	28,861	10,025	2,794	1,399	4,708	1,952
住宅地区	339,839	22,800	111,745	117,321	43,091	10,793	5,142	16,994	11,953
工業地区	65,438	3,053	21,954	22,367	8,278	2,794	1,205	4,453	1,334
その他地区	214,583	13,696	62,473	67,899	42,121	9,411	2,630	9,881	6,472
うち有料道路内事業所	611	2	13	19	199	60	15	303	-

特性地区別	前 回 比 (%)								
	計	8時間未満	8時間以上 10時間未満	10時間以上 12時間未満	12時間以上 14時間未満	14時間以上 16時間未満	16時間以上 24時間未満	終日営業	不詳
小 売 業 計	▲ 8.1	2.7	▲ 6.2	▲ 9.3	▲ 15.7	▲ 15.5	▲ 13.5	11.0	▲ 3.6
商業集積地区	▲ 9.0	▲ 1.0	▲ 9.7	▲ 9.4	▲ 12.6	▲ 6.0	▲ 7.3	6.3	▲ 7.0
駅周辺型	▲ 8.6	▲ 2.1	▲ 11.1	▲ 8.5	▲ 11.5	0.5	4.1	5.9	▲ 3.9
市街地型	▲ 10.8	0.8	▲ 10.0	▲ 11.7	▲ 18.0	▲ 14.9	▲ 17.6	1.3	▲ 8.2
住宅地背景型	▲ 12.1	▲ 2.0	▲ 8.6	▲ 13.3	▲ 21.3	▲ 16.5	▲ 15.6	4.5	▲ 8.1
ロードサイド型	7.1	1.3	▲ 2.3	4.2	23.3	18.3	5.3	23.6	▲ 5.9
その他	▲ 12.5	0.3	▲ 13.2	▲ 10.1	▲ 21.3	▲ 11.1	▲ 23.1	7.6	▲ 14.4
オフィス街地区	▲ 2.9	5.0	▲ 1.5	▲ 5.2	▲ 11.8	▲ 6.9	▲ 2.7	15.4	4.6
住宅地区	▲ 10.2	1.5	▲ 6.8	▲ 12.3	▲ 19.7	▲ 20.5	▲ 18.1	5.4	▲ 4.3
工業地区	0.0	2.3	2.4	▲ 0.1	▲ 11.9	▲ 5.9	▲ 2.8	22.0	▲ 0.4
その他地区	▲ 7.2	10.4	▲ 2.2	▲ 8.3	▲ 16.5	▲ 22.9	▲ 22.3	20.2	▲ 1.7

終日営業の割合を16年と比較すると工業地区の割合が 1.2%ポイント増、オフィス地区が 0.8%ポイント増、住宅地区が 0.7%ポイント増、その他地区が 1.0%ポイント増となっており、すべての地区で増加となっている(第1-6図)。

第1-6図 特性地区別にみた終日営業割合



(5) 立地環境特性地区別にみた就業者規模別事業所数

就業者規模別に事業所数の構成比をみると、小売業全体では就業者4人以下の小規模事業所が65.2%、5～49人の中規模事業所が33.3%、50人以上の大規模事業所が1.4%を占めている。

これを特性地区別にみると、商業集積地区、オフィス街地区、住宅地区では、いずれも小規模事業所が7割弱、中規模事業所が3割強、大規模事業所は僅かに1%と、似たような事業所構成となっている。工業地区では、中規模事業所割合が他の地区に比べ高く、5割近くを占めており、小規模事業所割合は5地区の中で最も低い。その他地区では、個人事業所が多いことから小規模事業所割合が7割超を占めている。

有料施設内事業所をみると駅改札内事業所は6割強が小規模事業所、有料道路内事業所は8割が中規模事業所となっている。

商業集積地区の内訳をみると、市街地型、住宅地背景型、その他で小規模事業所が7割を占めている。法人事業所が多いロードサイド型は、小規模事業所、中規模事業所がそれぞれ4～5割超を占め、大規模事業所の割合は最も高い。駅周辺型は小規模事業所が6割、中規模事業所が4割弱となっている。

前回比をみると、構成比率の高い小規模事業所はすべての特性地区で減少し、特に商業集積地区と住宅地区では2桁の減少となっている。中規模事業所は工業地区で増加となったほかはすべての地区で減少となった。大規模事業所は、オフィス街地区、工業地区、その他の地区で増加、商業集積地区、住宅地区では減少となった(第1-6表、第1-7図)。

第1-6表 特性地区別にみた就業者規模別の事業所数

特性地区別	平成19年										
	合計		小規模事業所 (4人以下)			中規模事業所 (5～49人)			大規模事業所 (50人以上)		
	事業所数	構成比 (%)	事業所数	構成比 (%)	前回比 (%)	事業所数	構成比 (%)	前回比 (%)	事業所数	構成比 (%)	前回比 (%)
小売業計	1,137,859	100.0	742,342	65.2	▲10.4	379,257	33.3	▲3.7	16,260	1.4	1.4
うち、有料施設内事業所	2,579	100.0	1,285	49.8	-	1,178	45.7	-	116	4.5	-
うち、駅改札内事業所	1,925	100.0	1,233	64.1	-	678	35.2	-	14	0.7	-
商業集積地区	427,463	100.0	278,965	65.3	▲11.3	142,443	33.3	▲4.5	6,055	1.4	▲2.4
駅周辺型	150,855	100.0	94,217	62.5	▲11.0	54,472	36.1	▲4.2	2,166	1.4	▲6.3
市街地型	100,965	100.0	70,297	69.6	▲11.4	29,618	29.3	▲9.5	1,050	1.0	▲6.3
住宅地背景型	122,016	100.0	87,252	71.5	▲12.9	33,213	27.2	▲10.2	1,551	1.3	▲4.8
ロードサイド型	40,001	100.0	17,682	44.2	▲2.2	21,140	52.8	15.9	1,179	2.9	16.0
その他	13,626	100.0	9,517	69.8	▲14.5	4,000	29.4	▲7.2	109	0.8	▲16.2
オフィス街地区	90,536	100.0	58,309	64.4	▲4.4	31,077	34.3	▲0.4	1,150	1.3	6.3
住宅地区	339,839	100.0	219,956	64.7	▲11.7	114,523	33.7	▲7.4	5,360	1.6	▲4.1
工業地区	65,438	100.0	32,298	49.4	▲6.4	31,208	47.7	6.6	1,932	3.0	18.7
その他地区	214,583	100.0	152,814	71.2	▲9.7	60,006	28.0	▲0.8	1,763	0.8	14.8
うち、有料道路内事業所	611	100.0	17	2.8	-	492	80.5	-	102	16.7	-

1-7図 特性地区別にみた就業者規模別事業所数の構成比

